

2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年2月13日

上場会社名 コージンバイオ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 177A URL <https://kohjin-bio.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中村 孝人
 問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員 (氏名) 平田 賢二 (TEL) 03-5784-2272
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第3四半期の連結業績 (2025年4月1日～2025年12月31日)
(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	3,791	△3.4	387	△42.6	385	△48.0	279	△45.9
2025年3月期第3四半期	3,923	10.7	675	82.0	740	86.2	516	149.6

(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 257百万円(△51.3%) 2025年3月期第3四半期 528百万円(115.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2026年3月期第3四半期	円 銭 54.71	円 銭 —
2025年3月期第3四半期	102.95	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在していないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2026年3月期第3四半期	百万円 8,958	百万円 5,916	% 66.0
2025年3月期	9,066	5,781	63.8

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 5,916百万円 2025年3月期 5,781百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年3月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 24.00	円 銭 24.00
2026年3月期	—	0.00	—	—	—
2026年3月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2026年3月期の連結業績予想 (2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,971	△4.5	464	△53.1	467	△56.1	335	△57.8	65.65

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社(社名) 一、除外 一社(社名) 一

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料 8 ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年3月期3Q	5,111,600株	2025年3月期	5,111,600株
② 期末自己株式数	2026年3月期3Q	一株	2025年3月期	一株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2026年3月期3Q	5,111,600株	2025年3月期3Q	5,021,891株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料 3 ページ「1. 経営成績等の概況(3) 連結業績予想等の将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想等の将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、緩やかな景気回復基調が見られ、個人消費は持ち直しつつも実質所得の改善が限定的であり、物価上昇の影響が残存することで回復を阻む局面も見られました。また、輸出は米国向け需要の鈍化などを背景に弱含みで推移し、企業活動には慎重姿勢が続きました。

海外経済に目を向けると、米国において雇用・消費が底堅さを保つ一方、関税政策の影響やインフレ動向を踏まえた金融政策調整が続き、年末には雇用情勢の鈍化から利下げが実施されました。中国経済は不動産市場の深刻な低迷が持続し、価格下落と販売不振が国内需要を圧迫するなど、景気回復の足取りは重い状況にあり、欧州ではエネルギー価格の変動や地政学的リスクが企業活動の不確実性を高め、投資判断に慎重さが残りました。

再生医療業界においては、幹細胞治療や遺伝子治療、3Dバイオプリンティングを含む組織工学などで技術革新が進み、世界的に市場が拡大しています。特にCRISPR技術やiPS細胞を活用した治療の開発が加速し、慢性疾患や難治性疾患への応用が広がるなど、個別化医療の進展が市場成長の主要因となっています。

国内においても再生医療研究が一層活発化しており、大学・企業による再生医療関連プロジェクトの増加により、細胞培養用培地や関連資材の需要が底堅く推移するほか、遺伝子治療の臨床応用の拡大に伴い、製造基盤の整備や品質保証体制の強化が引き続き重要なテーマとなっています。

このような経済状況の中で当社グループは、研究開発体制の強化、製造プロセスの最適化、および品質管理の高度化によって、持続的な成長基盤の構築に努めております。

当第3四半期連結会計期間において、国内外の再生医療市場の拡大を背景に、細胞培養用培地の販売が引き続き堅調に推移いたしました。一方、インフルエンザウイルス感染者数の増加にもかかわらず、関連製品の販売は前年同期のような大幅な伸びには至りませんでした。また、細胞加工事業では、契約先医療機関からの受託件数が横ばいでの推移となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は3,791百万円（前年同四半期比3.4%の減少）となり、営業利益は387百万円（同42.6%の減少）、経常利益は385百万円（同48.0%の減少）、親会社株主に帰属する四半期純利益は279百万円（同45.9%の減少）となりました。

なお、各セグメント別の業績は、以下のとおりであります。

(組織培養事業)

当第3四半期連結累計期間における組織培養事業は、国内外での細胞培養用培地の需要が引き続き堅調に推移し、特にOEM製品の受注が大きく伸長したことから、計画を上回る結果となりました。

海外ではアジア圏、とりわけ細胞治療市場が拡大している中国向けの販売が増加し、事業成長に寄与しました。

国内においても、自由診療領域での培地販売は横ばいでの推移となったものの、OEM受注や既存顧客からの製造受託案件が堅調に進んだことで、事業全体として安定した成長を維持しました。

この結果、売上高は1,922百万円（同13.5%の増加）、セグメント利益（営業利益）は739百万円（同25.9%の増加）となりました。

(微生物事業)

当第3四半期連結累計期間における微生物事業は、細菌検査用培地の販売が臨床分野および産業分野ともに概ね横ばいで推移し、前年同期比で大きな変動はありませんでした。

一方、同期間にインフルエンザウイルス感染者数が増加したものの、関連製品の販売は前年同期のような伸びには至らず、需要の回復は限定的となり、期初計画を下回りました。

この結果、売上高は1,085百万円（同18.0%の減少）、セグメント損失（営業損失）は15百万円（前年同期は224百万円のセグメント利益）となりました。

(細胞加工事業)

当第3四半期連結累計期間における細胞加工事業は、細胞加工関連製品の一部が堅調に推移したものの、細胞加工受託件数が計画を下回ったことから、前年同期および期初計画をともに下回る結果となりました。

また、当社の主要顧客層である外国人患者の動向については、日中関係の悪化に伴う中国人患者の減少が影響し、インバウンド需要は前年と比較し低迷しています。

このような環境により、受託件数は減少傾向が継続し、事業全体としては厳しい推移となりました。

この結果、売上高は783百万円（同13.4%の減少）、セグメント利益（営業利益）は98百万円（同62.0%の減少）となりました。

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は4,460百万円となり、前連結会計年度末に比べ606百万円減少いたしました。これは主に、電子記録債権が109百万円増加したことや、新倉庫完成に伴い未収消費税を計上したこと等によりその他流動資産が155百万円増加した一方で、工場新設用地の取得や新倉庫の建設費用、配当金の支払い等により現金及び預金が880百万円減少したことによるものであります。

また、固定資産は4,498百万円となり、前連結会計年度末に比べ498百万円増加いたしました。これは主に、工場新設用地の取得、及び新倉庫の建設等により有形固定資産が508百万円増加したことによるものであります。

この結果、当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べ107百万円減少の8,958百万円となりました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は2,397百万円となり、前連結会計年度末に比べ89百万円減少いたしました。これは主に、法人税等の納付により未払法人税等が96百万円減少したことによるものであります。

また、固定負債は644百万円となり、前連結会計年度末に比べ152百万円減少いたしました。これは主に、長期借入金112百万円を流動負債の1年内返済予定の長期借入金に振替えたことによるものであります。

この結果、当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末と比べ242百万円減少の3,042百万円となりました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は5,916百万円となり、前連結会計年度末に比べ134百万円増加いたしました。これは主に、為替換算調整勘定が22百万円減少したものの、剰余金の配当122百万円を上回る親会社株主に帰属する四半期純利益279百万円の計上により利益剰余金が156百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想等の将来予測情報に関する説明

2026年3月期の通期連結業績予想につきましては、本日（2026年2月13日）公表いたしました「通期連結業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,149,267	2,268,992
受取手形及び売掛金	809,413	804,289
電子記録債権	177,201	286,397
商品及び製品	313,323	277,961
仕掛品	90,206	135,700
原材料及び貯蔵品	477,216	481,659
その他	52,311	207,665
貸倒引当金	△1,975	△1,947
流動資産合計	5,066,964	4,460,717
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,071,841	1,917,137
土地	599,172	849,099
その他（純額）	1,582,638	996,280
有形固定資産合計	3,253,652	3,762,516
無形固定資産	27,262	20,166
投資その他の資産	718,768	715,458
固定資産合計	3,999,683	4,498,141
資産合計	9,066,648	8,958,859

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	134,081	200,045
電子記録債務	75,344	108,021
短期借入金	1,500,000	1,500,000
1年内返済予定の長期借入金	150,000	150,000
未払法人税等	114,136	17,305
賞与引当金	79,840	39,937
その他	433,900	382,416
流動負債合計	2,487,303	2,397,726
固定負債		
長期借入金	375,000	262,500
退職給付に係る負債	46,000	45,673
資産除去債務	66,214	66,621
その他	310,307	269,837
固定負債合計	797,522	644,632
負債合計	3,284,826	3,042,358
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,253,984	1,253,984
資本剰余金	1,153,134	1,153,134
利益剰余金	3,265,071	3,422,035
株主資本合計	5,672,189	5,829,154
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,427	4,083
為替換算調整勘定	106,204	83,263
その他の包括利益累計額合計	109,631	87,346
純資産合計	5,781,821	5,916,500
負債純資産合計	9,066,648	8,958,859

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	3,923,316	3,791,651
売上原価	2,223,047	2,274,927
売上総利益	1,700,269	1,516,723
販売費及び一般管理費	1,025,129	1,129,177
営業利益	675,139	387,545
営業外収益		
受取利息	694	2,526
受取配当金	84	151
受取賃貸料	8,427	8,427
持分法による投資利益	87,346	34,603
その他	5,062	1,290
営業外収益合計	101,616	46,999
営業外費用		
支払利息	21,727	28,272
支払手数料	9,613	1,756
支払補償費	-	14,634
その他	4,579	4,427
営業外費用合計	35,920	49,090
経常利益	740,834	385,455
特別利益		
固定資産売却益	1,660	-
補助金収入	-	11,694
特別利益合計	1,660	11,694
特別損失		
固定資産除却損	603	10,014
基幹システム変更に伴う損失	51,172	-
特別損失合計	51,776	10,014
税金等調整前四半期純利益	690,719	387,134
法人税等	173,722	107,491
四半期純利益	516,997	279,642
親会社株主に帰属する四半期純利益	516,997	279,642

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	516,997	279,642
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	258	655
為替換算調整勘定	11,425	△22,940
その他の包括利益合計	11,684	△22,285
四半期包括利益	528,681	257,357
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	528,681	257,357

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法により計算した金額を計上しております。

(セグメント情報等の注記)

前第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額(注) 2
	組織培養事業	微生物事業	細胞加工事業	計		
売上高						
外部顧客との契約から 生じる収益	1,694,215	1,324,444	904,656	3,923,316	—	3,923,316
外部顧客への売上高	1,694,215	1,324,444	904,656	3,923,316	—	3,923,316
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,694,215	1,324,444	904,656	3,923,316	—	3,923,316
セグメント利益	587,045	224,432	260,638	1,072,116	△396,977	675,139

(注) 1. セグメント利益の調整額△396,977千円は、各報告セグメントへ配分していない全社費用です。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額(注) 2
	組織培養事業	微生物事業	細胞加工事業	計		
売上高						
外部顧客との契約から 生じる収益	1,922,240	1,085,570	783,840	3,791,651	—	3,791,651
外部顧客への売上高	1,922,240	1,085,570	783,840	3,791,651	—	3,791,651
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,922,240	1,085,570	783,840	3,791,651	—	3,791,651
セグメント利益又は 損失(△)	739,055	△15,346	98,929	822,639	△435,093	387,545

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△435,093千円は、各報告セグメントへ配分していない全社費用です。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	267,091千円	294,558千円